

湊小学校



平成28年(2016年)9月号

学校長 小谷雅之

残暑まだまだ厳しい日が続いていますが、保護者の皆様方におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。夏休み中の子どもたちとの生活はいかが過ごされましたでしょうか。地球温暖化のため、年々、平均気温が高くなってきていることを、今年も実感しながら過ごされたのではないのでしょうか。

本校の児童は、今日現在、幸い道路や川での大きな事故の知らせもなく、みんな元気に頑張っている様子が伺えます。休み期間を振り返ると、育友会役員や地域の方々のご協力により、湊神社の太鼓演奏、地区対抗のドッジボール大会を中心にPTAソフトボール大会など、本当に忙しくお取り組みいただき有り難うございました。長かった夏休みでしたが、オリンピックでの日本選手の活躍、イチロー選手の3,000本安打達成など、興味深さと同時に感激し、励まされるニュースが目白押しだったことも、親子で共有する時間をもつことができた原因となったのではないのでしょうか。親子共々、満足できる夏休みにできたことと確信しております。



さて、2学期は一年間で最も長く、様々な行事にも勉強にもより本腰を入れ、充実して取り組める学期です。5年生は、9月に高野山で1泊2日の緑育体験を実施します。初めての高野山なので、無理をしない計画で楽しく経験できればよいと考えていますが、「備えあれば憂いなし」の言葉どおり、5年生も気を引き締めてしっかり取り組んで学習してきて欲しいと思います。また、10月1日〔土〕には運動会、そして11月には6年生の奈良、京都への修学旅行が予定されています。6年生にとっては、日々の学習や行事が小学校生活最後の思い出となるものです。悔いのないように、精一杯、楽しい思い出づくりに励んで欲しいと思います。



今回は、新学年にも慣れ、自主的に活動ができるようになってきた子どもたちに、2学期に期待することとして「**自利(じり)とは**

利他(りた)をいう」という言葉をご紹介します。これは、比叡山(ひえいざん)を開いた最澄(さいしょう)伝教大師の言葉と言われ、簡単に言うと、自利とは「自分の利益」のことで、「利他の実践(他人の利益となるように図ること)がそのまま自分の幸せ(利益)である。」という考え方だそうです。つまり、自分や他人のどちらか一方の利益を求めるのではなく、両者が利益を得られるように(幸せになるように)努力することが必要だという考え方です。例えば、ゴミ拾いをすると、自分もスッキリするし、環境も良くなるというようなことだそうです。少しでもわかりにくい人は、自分でも調べてみてください。



2学期もいろんな行事や学習を経験する中で、自分が楽であれば良いとか自分だけ分かればよいということだけでなく、自分も他人も楽しく学習できるようにバランスを考えて、思いやりをもって行動することを目標に元気に頑張りましょう。それが自分の成功につながると良いですね。